

平成24年10月17日

保護者の皆様

広島市立大州中学校
校長 丹 孝子

「基礎・基本」定着状況調査結果について（お知らせ）

秋冷の候 保護者の皆様には益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。

平素より、本校の教育活動にご理解とご協力をいただきありがとうございます。

さて6月12日に広島県下の中学2年生全生徒を対象に実施された「基礎・基本」定着状況調査の結果につきましては、10月1日配布の大州中だよりにて速報をお伝えしておりましたが、その詳細と本校としての考察・今後の指導計画の概要をお知らせいたします。

保護者の皆様には、今後ともご協力いただきますよう、よろしくお願いいたします。

1 学力検査の通過率について

		県	市	本校 H24
国 語	平均通過率	81.0%	78.5%	84.5%
領域別	聞くこと	82.8%	81.6%	84.8%
	書くこと	81.0%	75.9%	90.6%
	読むこと	78.9%	77.7%	79.5%
	言語事項	82.4%	79.5%	85.7%
数 学	平均通過率	74.1%	71.9%	74.4%
領域別	数と式	75.5%	73.9%	76.8%
	図形	74.9%	72.1%	72.5%
	関数	72.6%	70.3%	72.9%
	資料の活用	64.9%	60.4%	67.7%
英 語	平均通過率	74.2%	72.2%	80.5%
領域別	聞くこと	76.0%	76.2%	82.9%
	読むこと	72.1%	70.6%	77.6%
	書くこと	66.8%	60.3%	73.6%
	読むこと(実技)	86.7%	85.7%	98.7%
	話すこと(実技)	85.0%	84.6%	91.1%

2 各教科の今後の指導について

(1) 国語科

- 平均通過率は、広島市平均よりも6.0ポイント高く、広島県平均よりも3.5ポイント高くなっています。
- 全体的に良くできています。しかし、文学的文章の全体を把握して心情を短文にまとめる問題や、説明文の段落相互の関係を把握する問題、事象や行為などを表す多様な語句を正しく選択する問題の通過率が低くなっています。
- 説明的文章を読む際に、全体の構成や部分を接続する言葉を考える学習に力を入れていきます。
- 授業の中に考える場面を作り、一人一人が考えをノートにまとめ、その後、小グループで考えを交流し、全体に考えを出し、深めていくようにします。
- 普段、授業をしていて全体的に語彙量が少ないと感じることがあります。授業の中で、辞書を引く機会を設け語彙を増やしていくとともに、新聞記事などを利用して、いろいろな言葉、表現に触れるようにしていきます。

(2) 数学科

- 県平均より0.3ポイント、市平均より2.5ポイント高い通過率になっています。領域別でみると、数と式はやや高めですが、資料の活用が低めです。小問でみると、小数の減法、正負の数の利用、数量関係を見つける、度数分布表の理解などは通過率が高く、関係を文字で表す、相対度数の意味などは通過率が低くなっています。
- 資料の活用は生徒にとっては親しみにくい単元であり、言葉の意味理解も難しい印象を受けました。復習をする時間を十分に設けられなかったため、これから小テスト等を使って復習を行いたいと思っています。
- ただ問題を機械的に解くのでは、理解しているかどうかの判断が難しいので、話し合い活動をもっと増やし、自分の意見や考えを他人に説明できる環境を増やしていきたいと思っています。
- 小テスト等をもっと活用し、復習の機会を多く設けます。
- 質問アンケートに表れた数学への意欲は低くはないので、今後も継続して指導工夫に努めていきたいと思っています。

(3) 英語科

- 全領域を総合した平均通過率は、県平均より6.3ポイント、市平均よりも8.3ポイント上回っています。全ての領域において県・市の平均を上回っていますが、特に「読むこと」は、県平均より12ポイント、高くなっています。

○適切な語を用いた会話文の組み立てに課題があるので、前後関係のある文をしっかり読み取らせる練習を組み入れたいと思います。

○ひろしま型カリキュラムで小学校から英語を学習しているので、英語を聞いたり話したりする基礎的な力がついています。さらにその力を伸ばせるよう、授業の中で会話の時間を取り入れていきたいと思います。

○ペアやグループでの活動を好む傾向があるので、授業の中でその活動を組み込み、英語学習への意欲・関心をさらに高めていきたいと思います。

○今後も、授業－宿題（復習）－小テスト－定期テスト－振り返りという流れで、繰り返し指導をしていきます。英語の基礎的な力が一層定着するよう、指導を継続します。

(1) 生活に関する項目

○起床時間や朝食をとるパーセントは県とほぼ同じで、93%を越えています。家庭における生活習慣は生徒が成長する土台となるものなので、今後もあと7%の生徒についても、保護者と連絡をとりながら、取り組みを継続していきたいと考えています。また、就寝時刻が不規則な割合が県や市に比べて多いことが気になります。元気な学校生活を送れるよう、御家庭でも御協力をお願いします。

○新聞やテレビのニュースを見る習慣は75.5%で、県の数字を上回っており、社会のできごとに興味を持つ生徒が多いです。平日ゲームやテレビを見る時間は、県の数字を下回っていますが、休日には3時間以上ゲームやテレビを見る生徒が県より10%上回っており、休日に、家庭学習の時間や、読書量など学習面にかかる時間が少なくなっている傾向があります。

○学校のルールや社会のルールを守っていると思っている生徒が91%で県を上回っています。ほとんどの生徒が規範意識を自覚して生活できています。自分の住んでいる地域に愛着を持ち、地域活動や行事への参加も県より8%上回っており、地域活動に積極的に参加しているようです。しかし「あいさつをする」という項目は、県を下回っていますので、積極的に自らあいさつができるよう意識させていきたいと思います。御家庭でもぜひ御指導ください。

○74%を超える生徒が夢や希望を持っていますが、それに対して目標がかなうと思っている生徒は58%しかいません。学校生活の中では、行事を通して達成感や努力することの大切さを体験させ、目標達成できるという思いを少しでも多くの生徒に実感させたいと考えます。

○自分にはよいところがあると思う生徒は60.6%、自分のよさを周りから認められていると思う生徒は47.7%といずれも5%県より下回っています。自分のよさに気づき、周りから認められる実感を持たせられるよう様々な活動の場面で肯定的な声かけをしていきたいと思ひます。

3 生活に関する意識・実態調査の結果について

	項目	県	市	本校
生活習慣	・毎日朝食を食べている	94.9	95.1	93.5
	・同じくらいの時刻に寝ている	84.3	82.9	81.9
	・同じくらいの時刻に起きている	94.0	93.6	93.5
	・平日1日1時間以上、テレビを見たり、ゲームをしたりしている	87.6	87.4	87.1
	・休日1日3時間以上、テレビを見たり、ゲームをしたりしている	59.4	58.5	69.0
社会的事象への関心や体験	・新聞やテレビのニュースを見ている	74.7	72.2	75.5
	・学校や社会のルールを守っている	89.4	88.9	91.0
	・地域や子ども会の行事に参加する	44.0	35.5	52.3
	・近所の人や家の人に挨拶をしている	89.8	88.4	85.8
	・自分の住んでいる地域のことが好きだ	74.7	73.0	76.1
読書活動	・本を読むのが好きです	74.8	73.7	72.9
	・1ヶ月に3冊より少ない	61.5	65.4	61.9
自己実現力、自己効力感	・将来の夢や目標を持っている	76.1	74.0	74.2
	・努力すれば自分もたいていのことはできると思う	80.1	79.0	74.2
	・将来の夢や目標はかなうと思う	64.3	62.2	58.1
	・自分にはよいところがある	64.4	63.3	60.6
	・自分のよさはまわりの人から認められていると思う	52.8	51.5	47.7

4 学習に関する意識・実態調査の結果について

	項目	県	市	本校
全般	・学校に行くのは楽しい	85.0	84.7	86.5
学習習慣	・「力をつけたい」「わかるようになりたい」	74.7	73.4	69.7
	・わからないことはそのままにせず分かるまで努力する	67.9	66.9	64.5
	・予習をする	36.2	35.0	34.8
	・復習をする	54.2	49.2	44.5
	・自分で勉強の計画を立てている	49.8	47.2	43.2
	・1日1時間以上勉強している。	49.6	42.9	57.4
思考力	・自分の考えと他人の考えを比較しながら聞いている	66.5	66.6	62.6
	・物事を解決するとき、たぶんこうではないかと予想する	77.9	78.5	78.7
	・物事を解決する方法はいくつも考えている	55.2	54.2	56.1
表現力	・困ったときや腹が立ったときなど、解決するために、相手が納得するように自分の気持ちを言葉でつたえている	65.7	65.4	63.2
	・相手や目的に応じた話し方をしている	84.7	85.2	83.9
	・自分の考えや意見を具体的な例を挙げ、順序に気をつけながら話す。	58.7	57.8	53.5
学習動機 学習意欲	・将来仕事や生活に役立つと思うから勉強をしている	78.8	75.3	82.6
	・「やりなさい」といわれるから勉強している	43.1	44.5	54.8

(2) 学習に関する項目

○学習の力をつけたい(69.7%)と学習の意欲はありますが、「やりなさいと言われるから勉強する」という生徒が54.8%います。授業目標を板書したり、色チョークや振り返りシートを活用するなど分かりやすい授業への改善を図り、肯定的評価を積極的に行い、自ら学習する意欲を引き出すための取り組みを行います。また、今後予定されているキャリア学習を通して、将来の希望や目標を持たせ、目的を持って、学習に取り組めるようにしていきます。

○1日1時間以上勉強している生徒の割合は高いのですが、予習・復習の習慣が、県に比べ低い結果が出ています。特に復習の習慣は県より下回っています。その日に学校で学習した内容を家で復習することの大切さを説明し、復習をするよう指導します。テスト週間には「テスト計画表」を配り、計画的に学習に取り組めるように指導していますが、日常的に自ら学習計画を立てるまでになっていません。各教科で宿題や予習や復習をする方法などを指導し、家庭学習のすすめ方の指導に引き続き取り組みます。

○思考力はほぼ県を上回っていますが、相手が納得するように自分の気持ちを伝えることや具体例を挙げながら順序に気をつけながら話すのがやや苦手なようです。総合的な学習の時間や言語数理運用科での話し合いや、意見発表、各教科の授業での言語活動の時間を利用し、「話し方」の力がつく取り組みをしていきたいと思ひます。